

さくらルーム（校内別室指導）について

不登校対応委員会担当

本校では昨年度より、東校舎1階ランチルームの一角で「校内別室指導」を実施しており、様々な要因で教室に入ることによる不安を抱えている児童を対象に、校内における教室以外の居場所と個々の学習環境を確保しています。

昨年度末に、利用している児童たちで呼称を考え「さくらルーム」と命名しました。「さくらルーム」では専門の支援員が対応し、児童それぞれの学習に取り組んだり、参加が可能な授業へ参加し、教室復帰に向けて取り組んだりしています。校内に教室以外の居場所が確保され、学習が支援されることで、不安感を抱きやすい児童も安心して学校での時間を過ごすことができるようになってきていると感じています。

利用にあたっては、送迎をはじめ保護者の方のご理解とご協力が不可欠な事業でもあります。今後も、保護者の方々、支援員、教職員と連携し、児童への支援を重ねてまいります。

さくらルームの利用は、月～金曜日の8時30分から13時30分までです。利用を検討している児童、保護者の方は、担任や担当養護教諭までお声かけください。



今年度の校内研究について

研究推進主任

滝野川小学校では、昨年度まではNIE（新聞教育）を中心に、「自ら問題を見付け、共に学び合って解決する児童の育成」を掲げ、授業研究に励んできました。研究を通して、児童の読解力や書く力は高まったものの、自信をもって表現できる児童が少ないという課題が残りました。

そこで、今年度より校内研究のテーマを「自ら考えをもち、表現する児童の育成」～思わず言葉があふれ出す授業作り～と定め、誰もが主体的に学習に参加できるよう授業研究に努めています。

では、誰もが思わず話したくなる授業にするためには、どんなことに気を付けて授業を考えればよいのでしょうか。私たちは、

【自ら考えるために】

- 課題を自分事として捉えられるようにする
- 課題解決のイメージ（見通し）をもてるようにする
- 自分なりの結論をもてるようにする

【表現するために】

- 話し合いのテーマを吟味する
- 話し合いの場を設ける
- 学級の雰囲気作りを意識する

ということから取り組んでまいりたいと考えています。また、「学習アンケート」を通して、児童自身にも学習に対する意識の変容を感じられるようにしていきます。

滝野川小学校の教育活動に、今後ご理解・ご協力をお願いいたします。